

令和4年度

袋井市森町広域行政組合会計
歳入歳出決算審査意見書

袋井市森町広域行政組合監査委員



袋広行組監第8号
令和5年8月18日

袋井市森町広域行政組合

管理者 袋井市長 大場 規之 様

袋井市森町広域行政組合

監査委員 久永 豊彦

監査委員 寺田 守

令和4年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和4年度袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の種類 -----	4
2 審査の対象 -----	4
3 審査の着眼点 -----	4
4 審査の主な実施内容 -----	4
5 審査の実施場所及び日程 -----	4
6 審査の結果 -----	4
7 決算の概要 -----	5
(1) 歳 入 -----	5
(2) 歳 出 -----	6
8 実質収支に関する調書 -----	6
9 財産に関する調書 -----	7
10 基金運用状況調書 -----	9
11 まとめ -----	9

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」 …… 該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
 - 「—」 …… 該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
 - 「△」 …… 対比又は比較等がマイナスとなったもの
 - 「皆増」 …… 前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」 …… 本年度に数値がなく全額減少したもの

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和4年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

袋井市森町広域行政組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、袋井市森町広域行政組合管理者から提出された令和4年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市 監査室
- (2) 令和5年7月20日

6 審査の結果

審査に付された令和4年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和3年度 収入済額 (A)	令和4年度					増減額 (D)-(A)	前年度 対比 (D)/(A)
		予算現額 (B)	調定額 (C)	収入済額 (D)	執行率 (D)/(B)	構成比		
1 分担金及び 負担金	2,645,060	2,868,438	2,867,948	2,867,948	100.0	88.7	222,888	108.4
2 使用料及び 手数料	192,806	232,461	234,415	234,415	100.8	7.2	41,609	121.6
3 県支出金	18,911	19,266	18,965	18,965	98.4	0.6	54	100.3
4 財産収入	3	878	3	3	0.4	0.0	0	100.0
5 繰入金	34,227	4,000	4,000	4,000	100.0	0.1	△ 30,227	11.7
6 繰越金	33,488	38,997	38,997	38,997	100.0	1.2	5,509	116.5
7 諸収入	25,094	19,560	23,028	23,028	117.7	0.7	△ 2,066	91.8
8 組合債	528,900	48,800	48,800	48,800	100.0	1.5	△ 480,100	9.2
合計	3,478,488	3,232,400	3,236,155	3,236,155	100.1	100.0	△ 242,333	93.0

歳入決算額は、予算現額3,232,400千円に対し、収入済額3,236,155千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、100.1%(前年度99.2%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると242,333千円(7.0%)の減少となり、構成比は、分担金及び負担金88.7%、使用料及び手数料7.2%、組合債1.5%の順となっている。

市町別分担金及び負担金調書

(単位:千円)

市町別	共通費分担金	衛生費分担金	消防費分担金	消防費負担金	衛生費負担金	合計
袋井市	30,819	1,188,061	1,056,739	43,165	2,276	2,321,060
森町	6,200	222,589	306,444	10,646	1,008	546,887
合計	37,019	1,410,650	1,363,183	53,811	3,284	2,867,948

(2) 歳 出

(単位:千円、%)

区分 款	令和3年度 支出済額 (A)	令和4年度						増減額 (C)-(A)	前年度 対比 (C)/(A)
		予算現額 (B)	支出済額 (C)	翌年度 繰越額 (D)	不用額 (E)	執行率 (C)/(B)	構成比		
1 議会費	416	461	433	0	28	94.0	0.0	17	104.1
2 総務費	39,546	38,053	36,757	0	1,296	96.6	1.2	△ 2,789	92.9
3 衛生費	1,650,884	1,473,758	1,458,647	0	15,111	99.0	45.8	△ 192,237	88.4
4 消防費	1,234,279	1,295,007	1,279,673	0	15,334	98.8	40.1	45,394	103.7
5 公債費	514,367	413,563	412,791	0	772	99.8	12.9	△ 101,576	80.3
6 予備費	0	11,558	0	0	11,558	0.0	0.0	0	—
合 計	3,439,491	3,232,400	3,188,301	0	44,099	98.6	100.0	△ 251,190	92.7

歳出決算額は、予算現額3,232,400千円に対し、支出済額3,188,301千円、不用額44,099千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、98.6%（前年度98.1%）となっている。

支出済額を前年度と比較すると251,190千円(7.3%)の減少となり、構成比は、衛生費45.8%、消防費40.1%、公債費12.9%の順となっている。

8 実質収支に関する調書

令和4年度決算においては、歳入総額3,236,155千円、歳出総額3,188,301千円、歳入歳出差引額は47,854千円が実質収支となっている。

9 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土地(地積)			建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高
火 葬 施 設	36,140.56	0.00	36,140.56	1,448.18	0.00	1,448.18
ごみ処理施設	74,386.33	0.00	74,386.33	7,796.88	0.00	7,796.88
下流水路管理道路	980.94	0.00	980.94	—	—	—
し尿処理施設	31,282.45	0.00	31,282.45	4,852.49	0.00	4,852.49
搬 入 路	2.81	0.00	2.81	—	—	—
袋井消防本部	4,098.21	0.00	4,098.21	4,099.74	0.00	4,099.74
消防庁舎駐輪場	—	—	—	9.52	0.00	9.52
車庫備蓄倉庫棟	—	—	—	167.79	0.00	167.79
総合訓練塔	—	—	—	324.00	0.00	324.00
消防訓練塔	—	—	—	192.00	0.00	192.00
袋井消防署浅羽分署	—	—	—	734.52	0.00	734.52
袋井消防署山梨分遣所	—	—	—	509.25	0.00	509.25
袋井消防署森分署	—	—	—	952.34	0.00	952.34
合 計	146,891.30	0.00	146,891.30	21,086.71	0.00	21,086.71

イ 工作物

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理施設調整池下流水路柵渠及び管理道路	1,265.00 m ²	0.00 m ²	1,265.00 m ²
合 計	1,265.00 m ²	0.00 m ²	1,265.00 m ²

(2) 物 品

ア 事務局

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽 四 自 動 車	1 台	0 台	1 台

イ 施 設

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽 ト ラ ッ ク	1 台	0 台	1 台
ダ ンプ カ ー	1 台	0 台	1 台
普 通 自 動 車	1 台	0 台	1 台
軽 四 自 動 車	1 台	0 台	1 台
フ ォ ーク リ フ ト	2 台	0 台	2 台
ホ イ ル ロ ー ダ ー	1 台	0 台	1 台

ウ 消 防

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
救 急 車	6 台	0 台	6 台
指 令 車	1 台	0 台	1 台
連 絡 車	3 台	0 台	3 台
査 察 車	1 台	0 台	1 台
広 報 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 支 援 車	1 台	0 台	1 台
支 援 車(マイクロバス)	1 台	0 台	1 台
消 防 ポ ン プ 車	3 台	△ 1 1 台	3 台
救 助 工 作 車	1 台	0 台	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4 台	0 台	4 台
化 学 消 防 自 動 車	1 台	0 台	1 台
小 型 は し ご 付 消 防 ポ ン プ 車	1 台	0 台	1 台
資 機 材 搬 送 車	1 台	0 台	1 台
事 務 連 絡 車	1 台	△ 1 1 台	1 台
救 命 ボ ー ト	4 艘	0 艘	4 艘
可 搬 ポ ン プ	5 台	△ 1 台	4 台

※ 決算年度中増減高には修正分を含む。

(3) 債 権 無 し

(4) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財 政 調 整 基 金	251,604	22,430	274,034
消 防 職 員 退 職 手 当 基 金	72,914	10,001	82,915
合 計	324,518	32,431	356,949

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
財 政 調 整 基 金	251,604	26,430	4,000	274,034	新規積立額 26,428 利子積立額 2 基金取崩額 4,000
消防職員退職手当基金	72,914	10,001	0	82,915	新規積立額 10,000 利子積立額 1 基金取崩額 0
合 計	324,518	36,431	4,000	356,949	新規積立額 36,428 利子積立額 3 基金取崩額 4,000

11 まとめ

組合が有する衛生施設では、火葬施設の中遠聖苑は供用開始から39年、し尿処理施設の衛生センター第1プラントは36年、ごみ処理施設の中遠クリーンセンターは14年経過している。

施設の老朽化が進んでいることから、計画的かつ定期的な点検や修繕を実施することで長寿命化を図り、万全の施設の維持管理に努める必要がある。

また、3施設いずれも施設の在り方を検討しなくてはならない時期となっている。構成市町や地元自治会等と連携・協力の上、今後の施設の方向性を見出す検討を進められたい。

中遠クリーンセンターにおいては、可燃ごみの搬入量が施設の処理限界量である34,000 t に近づいていたことから、剪定枝や刈草の堆肥化、粗大ごみのリユース、搬入料金の見直し等に取り組まれた結果、前年度より搬入量が減少した。

今後は、施設で処理をする可燃ごみのうち、各地区からの収集と直接搬入される可燃ごみの量等を分析、減量化の方策を研究するとともに、構成市町と連携し、焼却ごみの減量化が、より一層促進されるよう努められたい。

消防業務については、中東遠総合医療センターのドクターカーとの連携や自動心臓マッサージ器の導入など、住民の救命率向上のため、救急救命体制の強化に取り組まれている。

また、消防ポンプ自動車の更新に併せ、消火効果の高い消火薬剤自動混合装置を搭載するなど、火災等災害活動の強化にも鋭意に取り組まれている。

地域住民の安心・安全のため、より一層の業務の推進と消防隊員の資質及び技術の向上に努められるとともに、災害時の応援活動も含有しながら、業務に必要な備品・資機材を確実に整備されたい。